

〈お知らせ〉

「精神科認定看護師」に興味がある方へ。 日精看さんが、2019年の 教育課程受講生を募集しています。



■精神科認定看護師になるためには

精神科認定看護師の資格を取るためには、精神科認定看護師教育課程を受講し、認定試験に合格する必要があります。
日本精神科看護協会（日精看）さんでは、次年度に開講する教育課程の受講生を、下記のとおり募集しています。

◎受講資格を得るには、まず「小論文」と「書類審査」に合格することが必要です。

【募集人員】80名

【資格審査料】会員：16,200円（税込） 非会員：27,000円（税込）

資格審査料は出願書類を受理した後、振込用紙を送付します。

【審査科目】小論文、書類審査

【出願の流れ】

①小論文の審査会場を、①東京（東京研修会場）、②京都（京都研修センター）、③福岡（日精看ネット九州）から選択してください。

②出願書類を、①で選択した審査会場へ送付してください。

①東京：〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33 品川キャナルビル 7F

日本精神科看護協会 受講資格審査出願係

②京都：〒604-8166 京都府京都市中京区三条通烏丸西入御倉町 85-1 KDX 烏丸ビル 8F

日本精神科看護協会 京都研修センター 受講資格審査出願係

③福岡：〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川 3-14-20 福精協会館 2F

日本精神科看護協会 日精看ネット九州 受講資格審査出願係

【出願期間】2018年9月3日（月）～9月28日（金）

【審査日程】2018年11月7日（水）

【審査結果】2018年12月7日（金）、本人へ書面で通知します。また、合格者の受験番号を協会ホームページで公表します。

【その他】出願にあたっては、[出願資格]と[出願書類]の記入方法などの詳細を「精神科認定看護師制度ガイドブック平成30年改訂版」でご確認ください（記入例はホームページ <http://www.jpna.jp/education/certified-nurse.html> で公開）。書類に不備がある場合は受理されないため、気をつけてください。2019年度教育課程の研修会場は東京研修会場です。

【問い合わせ先】一般社団法人日本精神科看護協会 認定担当 Tel：03-5796-7033



日精看の専用サイト

■すでに資格を取得した方たちからのメッセージも紹介します

資格を取得して よかったこと



須田直樹（精神科認定看護師2016年登録）
群馬県立精神医療センター勤務

私が精神科認定看護師の資格を取得してよかったと思うことは、看護の視野が広がり課題解決のための「引き出し」が増えたことです。研修会では精神科看護に関する知識・技術を網羅的に学習できることが魅力の1つだと思います。

私は精神科に配属になって以来、ずっと救急・急性期領域で勤務していたため、その領域以外の講義や実習がとても新鮮でした。特に地域の実習で得た「医療は患者さんの人生の一部にすぎず、退院した患者さんは地域の生活者になる。患者さんがその人らしい生活を送るために主体的に医療を活用できるようにする支援が重要」という学びは、視野を広げるだけでなく、看護観すら変えるものでした。

また、臨床の課題解決に必要な知識・技術、それを現場に効果的かつ円滑に結び付ける方法が学べたことや、研修会で出会った方々とつながりができたことも、資格を取得してよかったと思うことの1つです。

研修会の学びで看護実践能力が向上すると、スタッフのサポートに回れる機会が増え、カンファレンスや会議などで積極的かつ調和を意識した発言ができるようになりました。そして現在は、院内の行動制限最小化委員、事例研究のオブザーバー、院内外の研修講師を担当し、日本精神科看護協会群馬県支部でも、教育委員長として支部研修の企画立案・運営に携わっています。

これらすべてに、研修会で得た知識・技術・情報・つながりの「引き出し」をフル活用しています。

精神科認定看護師 教育課程での学び



加藤由果子（精神科認定看護師2018年登録）
医療法人社団有朋会栗田病院勤務

私は、今年（2018年）4月に精神科認定看護師の資格を取得しました。資格取得の過程には「受講資格審査」に合格した後、「研修会」「演習」「実習」「試験」があります。その中で多くの困難がありましたが、3つのことを学ぶことができました。

1つ目は、自分の意見を言葉で表現し、相手に伝えることの大切さです。そのためには、状況を正しく認識し、適切な言葉で表現しなければなりません。精神科認定看護師として、習得した専門的知識と技術を伝えていくために学び続けていきたいと思います。

2つ目は、人と人のつながりの大切さです。学ぶ環境をサポートしてくれた所属施設、家族などは非常に大きな存在でした。さらに、共に研修を受けた仲間とのつながりがあったからこそ、つらい研修を乗り越えて楽しさや喜びを感じることができました。そして今後は、病院内の多職種連携だけでなく地域の方との連携を図り、暮らしやすい社会づくりに貢献したいと考えています。

3つ目は、人を魅了し、巻き込んでいくには、豊かな人間性が必要であるということです。講師の先生方や先輩の精神科認定看護師の方と接し、強い信念や情熱が人を動かすと感じました。

これから、精神科認定看護師として「質の高い看護実践」「相談」「指導」「知識の発展」という役割を果たし、精神障害者を含めた誰もが安心して暮らせる社会を作っていきたいと考えています。